

京都市動物迷惑条例（仮称）に対する意見に関するアンケートご回答

THEペット法塾、京都野良猫保護連絡会
連絡先：植田法律事務所（TEL:06-6362-8177）

－：無回答

京都市議員氏名 (敬称略)	問1	問2. 反対または留保のご回答をされました方について、その理由は何ですか	会派	選挙区
青木 よしか	—		民主・都みらい京都市議員団	右京区
青野 仁志	留保	本意見を否定するものではありませんが、条例が提案される背景もあろうかと存じます。これらをふまえて、これから議会にて、しっかり議論し結論を得たいと考えております。	公明党京都市議員団	中京区
天方 浩之	—		民主・都みらい京都市議員団	西京区
井坂 博文	留保	条例提案がまだ入手できておりませんので、「野良猫餌やり禁止条例」と断定できる判断材料がありませんが、主張されておられる主旨は概ね賛同いたします。猫への餌やりを禁止するだけでは野良猫問題の解決にはつながらないと考えます。また、違反した者へ過料を科すことは慎重に検討し対応すべきであります。 動物愛護管理法に違反するかどうかに関しては、法律家の意見も聞きながら検討してまいります。私の周りにも、懸念を表明されている方が数人おられますので、さらに意見を聞いてまいります。	日本共産党京都市議員団	北区
井上 けんじ	留保	基本的に賛成ですが法違反云々よりもそもそも猫の命、猫との共生の立場から考えたらいいかと思えます。条例案の提案と議会質疑を通して最終判断したいと思えます。	日本共産党京都市議員団	南区
井上 教子	—		公明党京都市議員団	下京区
井上 与一郎	—		自由民主党京都市議員団	右京区
今枝 徳蔵	—		民主・都みらい京都市議員団	下京区
岩橋 ちよみ	留保	ご意見について賛同できる点もあります。これまでのボランティア活動等を規制するようなことはすべきではないと考えます。議会には、今後、提案される問題ですので、今後十分検討、議論が求められます。	日本共産党京都市議員団	右京区
内海 貴夫	—		自由民主党京都市議員団	東山区
江村 理紗	—		地域政党京都京都市議員団	右京区
大西 均	—		自由民主党京都市議員団	左京区
大道 義知	留保	犬のふん害対策とともに猫の対策に現状認識の違いがあり、議論しなければならない課題が多いため、論点整理をし、市民への情報提供をすることが不可欠と	公明党京都市議員団	南区

		<p>考えます。パブリックコメントの内容がそのままの原案になるとは考えていませんが、ボランティアの方々や市民の意見を反映した、制度設計が必要と考えます。</p> <p>また、パブリックコメント(市民意見募集)を通じ条例化を検討している京都市の中で、動物愛護の取り組みを推進し担当しているのは、保健福祉局保健衛生推進室ですが、仮にもこの条例化による取り組みは公園や道路を管理している年計画局や建設局さらには農道などを担当している産業環境局など、多くの関係局との関係が極めて重要ですが、まだその体制等が整備されていないのが実態です。</p> <p>さらに、動物愛護憲章が制定直後であり、4月にもセンターが整備される中で、まずは憲章の理念の根幹をなす「モラル向上」の取り組みをしばらく推進する中で検証しながら条例化を検討してもよいのではないかと考えます。</p> <p>市民に対して義務化を図る条例化を検討する一方で、京都市が直接管理している市営住宅におけるペット飼育の実態には何ら手が打っていません。本来、ペット飼育は禁じている市営住宅入居基準からして今の現状をそのまま放置することは検証の理念からして逆行するものです。</p> <p>その意味では、この今回の条例化の議論をきっかけに広く議論すべき課題が多いように感じています。</p> <p>条例には規制的な条例(対策条例)と推進的な条例(推進条例)があります。</p> <p>今回の条例化は「対策条例」の検討ですが、一方で憲章にとどまっている動物愛護の推進の条例化はされていません。</p> <p>車の両輪の如く、バランスのとれた条例法体系にすべきではないかと以前から私も主張しているところです。</p>		
隠塚 功	—		民主・都みらい京都市会議員団	左京区
香川 佐代子	—		自由民主党京都市会議員団	中京区
片桐 直哉	反対	猫の迷惑を被る住民の方々がいるため、一定の規制はやむを得ない	民主・都みらい京都市会議員団	北区
加藤 あい	留保	主張されているご意見については賛同いたします。猫への餌やりを禁じることで野良猫の問題は解決できないと考えます。自ら飼養するか「まちねこ活動支援事業」に沿ってしか餌やりを継続できないとなれ	日本共産党京都市会議員団	左京区

		ば、これまでボランティアとして活動されてきた団体の活動を制限することになります。避妊去勢等を含めて活動してきた善意のボランティア団体の活動まで規制が及ぶようなことはするべきではないと考えます。2月市会に示された内容を精査し対応してまいります。		
加藤 盛司	—		自由民主党京都市会議員団	中京区
河合 ようこ	留保	法律に関しては、まだ不勉強で判断しかねていますので留保とします。主張されている点には賛同できません。罰金等を課すことには反対です。みなさんのように善意で活動されている団体に規制が及ぶようなことはするべきではありません。条例が議会に提案された際に、よく検討し態度を決めたいと思います。	日本共産党京都市会議員団	西京区
北山 ただお	留保	法律や条令で規制するものではないですね。ましてや過料を課すことには賛同できません。	日本共産党京都市会議員団	山科区
国本 友利	—		公明党京都市会議員団	左京区
久保 勝信	—		公明党京都市会議員団	山科区
くらた 共子	留保	条例案が示されましたら、ご意見を踏まえ、しっかり検討させて頂きたいと存じます。	日本共産党京都市会議員団	上京区
小林 あきろう	—		民主・都みらい京都市会議員団	上京区
小林 正明	—		自由民主党京都市会議員団	北区
さくらい 泰広	—		自由民主党京都市会議員団	左京区
佐々木 たかし	—		地域政党京都京都市会議員団	中京区
繁 隆夫	—		自由民主党京都市会議員団	伏見区
しまもと 京司	—		自由民主党京都市会議員団	南区
清水 ゆう子	—		無所属	伏見区
下村 あきら	—		自由民主党京都市会議員団	下京区
鈴木 マサホ	—		民主・都みらい京都市会議員団	左京区
曾我 修	—		公明党京都市会議員団	伏見区
高橋 泰一朗	—		自由民主党京都市会議員団	伏見区
田中 明秀	—		自由民主党京都市会議員団	西京区
谷口 弘昌	—		公明党京都市会議員団	伏見区
玉本 なるみ	留保	「地域猫」活動の取り組みに心から敬意を表します。京都市のすすめる「まちなこ活動支援事業」は条件的に取り組みにくく、猫の殺処分の減数の効果として、ほんの一部にしかあたらず、改善が必要と思っています。地域猫活動の取り組みに規制がかかるようなことは、何としてもすべきではないと考えています。法的なところでの違法性については、今後、更に検討を深め考えていきたいと思っています。	日本共産党京都市会議員団	北区
津田 早苗	—		公明党京都市会議員団	伏見区

津田 大三	—		自由民主党京都市会議員団	中京区
寺田 かずひろ	—		自由民主党京都市会議員団	上京区
とがし 豊	留保	違法性の判断に関しては、一部に一致しない点がありますが、ご意見の趣旨については賛同いたします。条例内容については、避妊去勢等を含めて活動してきた善意のボランティア団体の活動まで規制が及ぶようなことはするべきではない。	日本共産党京都市会議員団	左京区
富 きくお	—		自由民主党京都市会議員団	山科区
中川 一雄	—		自由民主党京都市会議員団	伏見区
中島 拓哉	—		地域政党京都党京都市会議員団	南区
中野 洋一	—		民主・都みらい京都市会議員団	東山区
中村 三之助	—		自由民主党京都市会議員団	上京区
西野 さち子	留保	まだ正確に、条例案が出されていないので、判断しにくい事。猫のエサやりを禁止する事が野ら猫問題の解決につながらないと思います。 又、私の知人でゼロの会で頑張っておられた方もあるので、ご意見は理解できますし賛成です。	日本共産党京都市会議員団	伏見区
西村 義直	—		自由民主党京都市会議員団	西京区
西村 善美	留保	過料を科してまで行うべきか疑問に思っています。多くの皆さんのご意見を更にお聞きして対応したいと考えてます。	日本共産党京都市会議員団	右京区
橋村 芳和	—		自由民主党京都市会議員団	伏見区
ひおき 文章	—		公明党京都市会議員団	北区
樋口 英明	留保	日頃、ボランティア活動をされていることに敬意を表します。いただいたご意見を参考にしながら、条例案が出た際には会派で慎重に検討します。	日本共産党京都市会議員団	左京区
平山 よしかず	留保	これから議会で審議をし態度を決していくため。	公明党京都市会議員団	西京区
松下 真蔵	—		民主・都みらい京都市会議員団	山科区
宮田 えりこ	留保	ねこへのエサやりを禁止することが、野良猫問題の解決にはなりません。善意の活動に取り組みられてきたボランティア団体の皆様の取組を制限する内容となることとなる2つの選択肢など規制が及ぶようなことはすべきではないと考えます。違法性はともかく、ご意見ご主張に賛同します。	日本共産党京都市会議員団	山科区
宮本 徹	—		民主・都みらい京都市会議員団	右京区
椋田 隆知	—		自由民主党京都市会議員団	南区
村山 祥栄	留保	ご指摘の内容と本条例の規定とは少し違うように理解しております。	地域政党京都党京都市会議員団	左京区
森川 央	—		無所属	西京区
安井 つとむ	—		民主・都みらい京都市会議員団	伏見区

山岸 たかゆき	—		民主・都みらい京都市会議員団	伏見区
山中 渡	留保	猫の餌やりを禁止することで野良猫問題が解決するとは思いません。また、善意からの餌やり等の行動が野良の管理の強制などに及ぶとなれば、これまで避妊去勢など取り組んできた団体の活動を阻害することにもつながります。条例の審議にあたっては以上の点を踏まえて審議を行い、態度を決めたいと考えています。	日本共産党京都市会議員団	下京区
山元 あき	—		自由民主党京都市会議員団	右京区
山本 恵一	—		自由民主党京都市会議員団	北区
山本 ひろふみ	留保		民主・都みらい京都市会議員団	伏見区
湯浅 光彦	留保	現在議論中です。	公明党京都市会議員団	右京区
吉井 あきら	—		自由民主党京都市会議員団	山科区
吉田 孝雄	留保	様々なご意見をはば広く伺っている段階です。「無責任な餌やり」の定義を明確にする必要があると考えます。	公明党京都市会議員団	上京区